2026 花のまつり

開催日：令和８年１０月３０日（金）・３１日（土）・１１月１日（日）
場　所：米子市文化ホール（イベントホール、展示室、研修室１，２）

花のまつりの目的

花きの生産者から一般消費者までの幅広い範囲を対象とした総合イベントを実施し、生産者の技術向上と栽培意欲の高揚並びに花き産業関係者の連携を深めるとともに、「暮らしに花を」という観点から県民の花きに対する関心を高め、花文化の定着を図る。

開催概要

今年は、米子市文化ホールで３日間（一般公開は３１日・１日の２日間）にわたり花のまつりを開催しました。花き品評会やフラワーデザイン競技会及び表彰式に加え、花壇苗の寄せ植え教室やフラワーアレンジメント教室、子ども向けのフラワーワークショップ、県産材を使ったミニブーケ販売、園児による花の絵展示など盛りだくさんの内容で、約５００名と多くの方に御来場いただきました。


花き品評会の様子（切り花）


花き品評会の様子（花壇苗）


デザイン競技会の様子


一般公開の様子


花回廊出張展示


こどもフラワーワークショップ


表彰式


表彰式



フラワーデモンストレーション

第５４回鳥取県花き品評会

農林水産省等が主催する農林水産祭の参加行事として実施し、県内で生産されている花きの特質を明らかにして、その生産技術の向上と品質の改善等に資するとともに、本県の花き生産の進展に寄与することを目的として開催しています。

本年度は１４８点の出品があり、審査の結果、鳥取市の谷上信吾さんのフウセントウワタが農林水産大臣賞に選ばれました。

農林水産大臣賞

谷上（たにがみ）　信吾（しんご）氏
種別　枝物類
（鳥取市）



（審査員の評価・選賞理由）

枝数が多く、実つきが非常によい。葉を取って商品性を高めている。

第２７回鳥取県フラワーデザイン競技会

県内の生花商及びフラワーデザイナー、フラワーデザインを学習する高校生、一般の方の技術向上を目的として開催するとともに、「暮らしに花を」の観点から花き需要の促進を図り、本県の花き産業の進展に寄与することを目的として開催しています。

本年のテーマは**「希望の芽吹き」**。計５２点（プロ部門２８点、一般部門３点、高校生部門２１点）の作品から、部門ごとに鳥取県知事賞等の選賞が行われました。

鳥取県知事賞

プロ部門
梶間（かじま）　悟（さとる）氏
（(株）結フローラ・米子市）



（審査員の評価・選賞理由）

色みがよく、重心が下にあり、安定感がある。そこから芽が伸びていく様がよく表現されている。

一般部門
福原（ふくはら）　美和子（みわこ）氏
（米子市）



（審査員の評価・選賞理由）

立体感のある意識的なデザインが素晴らしい。

高校生部門
阪根（さかね）　徠心（くるみ）氏
（倉吉農業高校）



（審査員の評価・選賞理由）

バランスのとれた、とても素晴らしい作品。

各種イベント

花壇苗の寄せ植え教室・フラワーアレンジメント教室

花壇苗の寄せ植え教室では、地元の花壇苗生産者から寄せ植えのコツについて説明を聞きながら、花壇苗の寄せ植えを作成しました！自分好みに苗の色や配置を工夫して素敵な寄せ植えに仕上がったようです。

フラワーアレンジメント教室では、鳥取県産花きを使用した色鮮やかなフラワーアレンジメントの作成も行われました！同じ花材でも活け方で印象が変わるため、皆さん個性あふれる作品ができました。お家に飾れば気分も雰囲気も明るくなりそうです。

●花壇苗の寄せ植え教室

講師：鳥取県苗物鉢物生産研究会　濱田 翔太 氏





●フラワーアレンジメント教室

講師：米子花商協同組合　小坂　泰彦 氏





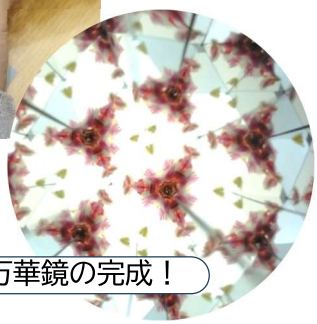
こどものためのフラワーワークショップ（ＮＥＷ！）

「こどもたちに、花とふれあう楽しみをもっともっと知ってもらいたい！」という思いから、今年初の催しとして、こども向けのフラワーワークショップを開催しました。参加したこどもたちからは、「楽しかった、またやってみたい」「他の花と一緒に玄関に飾りたい」などの感想が寄せられました(^^)

１　花の万華鏡づくり
講師：とっとり花回廊　平野 正勝 氏




ドライフラワーを自由に詰めて‥

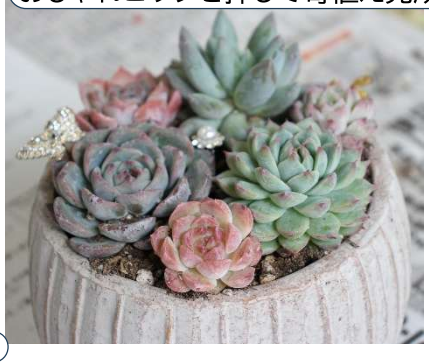

花の万華鏡の完成！


中をのぞいてみると‥

２　多肉植物の寄せ植え体験
講師：鳥取県苗物鉢物生産研究会　松本 弦 氏




植え方を教えてもらいます


おしゃれピックを挿して寄植え完成！

秋に向かっての「紅葉」も楽しみです♪

３　キッズフラワーアレンジメント教室
講師：米子花商協同組合　谷口 曜子 氏



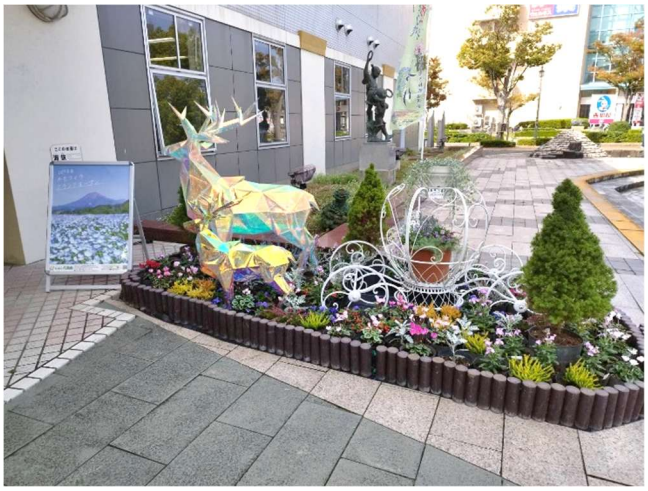

みんな集中しています！


秋色アレンジメントの完成！

とっとり花回廊による出張展示、
鳥取県苗物鉢物生産研究会・とっとり花回廊による苗物の販売

とっとり花回廊による展示が行われました。とっとり花回廊で行われるイルミネーションの一部が先行展示され、とても綺麗でした。

鳥取県苗物鉢物生産研究会・とっとり花回廊による苗物の販売が行われました。多くのお客様にお越しいただき賑わいました。生産者の方が直接販売されましたので、栽培や管理のコツなども聞くことができたようです。





県産の花を使ったミニブーケ販売

「会場でお花を買いたい！」というお客様のご要望にお応えして、昨年に引き続き、県内の花屋さんが県産花材（今回は北栄町産のアスター）を使ってミニブーケを作成し販売を行いました。

また、本年はフェアプライスプロジェクトの一環として、消費者の手元に届く「花の価格」を考えていただくためのフェアプライスクイズを行いました。





花束を購入いただくお客様に、
フェアプライスクイズを行いました。
「花を栽培するコストも高くなってるんだね～」

県立美術館コラボ企画「地元園児による花の絵展示」

会場近隣の地元園児に「おはなとぼく、わたし」というテーマで花の絵を描いていただき、鳥取県立美術館長に選賞いただき、表彰式を行いました。ご家族連れなど、多くの方に展示をご覧いただきました。壁一面に飾られた園児のかわいらしい絵が、会場全体を華やかにいろどってくれました。







お花屋さんによるフラワーデモンストレーション

出演者（勤務先）：井口　太志　氏（鳥取市　創作花工房 BLOSSOM DECO）

神原　若　　氏（倉吉市　花はあんどう）

梶間　悟　　氏（米子市　結フローラ）

花き品評会に出品された花材を使って即興で作品を作り上げる・・これぞプロの技！！
ウォーミングアップで作成された花が来場者にプレゼントされる嬉しいサプライズも！花に関する質問等も受けながら、楽しいトークが飛び交うショーに、会場のお客様も自然と笑顔に（＾＾）


井口氏


神原氏


梶間氏


完成作品の数々

鳥取県による「ＧＲＥＥＮ×ＥＸＰＯ ２０２７」ＰＲコーナー

鳥取県が２０２７年国際園芸博覧会（令和９年３月１９日から横浜で開催）に出展することから、ＧＲＥＥＮ×ＥＸＰＯ ２０２７と鳥取県の庭園出展概要などが紹介されました。会場では、ＧＲＥＥＮ×ＥＸＰＯ ２０２７公式マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」や鳥取県のマスコットキャラクター「花トリピー」のぬりえが行われ、ご家族そろって楽しまれていました。





展示コーナー

花のまつり協賛企業による展示コーナーです。切り花品質保持剤や栄養剤、作業負担軽減衣類やグッズの紹介・県園芸試験場によるパネル展示も行っていただきました。協賛いただいた企業の皆様、ありがとうございました。



（株）アークス 様



ＯＡＴアグリオ（株） 様



（株）フジ電機 様



フジ日本（株） 様



参考展示：園芸試験場

【花のまつり２０２６　主催等関係団体】

主催　鳥取県花き振興協議会

協賛　（株）アークス、ＯＡＴアグリオ（株）、白木屋種苗（株）、（株）中国種苗、
（株）フジ電機、フジ日本（株）、（株）ムラカミシード、（株）ランドサイエンス
（五十音順）

後援　鳥取県、鳥取県議会、鳥取県市長会、鳥取県町村会、鳥取県農業協同組合中央会、
全国農業協同組合連合会鳥取県本部、鳥取いなば農業協同組合、鳥取中央農業協同組合、
鳥取西部農業協同組合、（株）鳥取花市場、倉吉花き市場（株）、東亜青果（株）、
鳥取生花商園芸組合、倉吉花商組合、米子花商協同組合、とっとり花回廊、山陰中央新報社、
新日本海新聞社、BSS 山陰放送、TSK さんいん中央テレビ、日本海テレビ、
日本海ケーブルネットワーク、いなばぴょんぴょんネット、鳥取中央有線放送（株）、
中海テレビ放送、FM 鳥取